

ご成人 おめでとう



成人式

第158号

2011年（平成23年）1月27日発行

議会だより

大磯

第2回臨時会（11月16日）

● 補正予算を修正 …………… 2

12月定例会（12月16日～22日）

● 14町村で情報システム共同化 …………… 3

● 賛否結果 …………… 4

● 町政のここが聞きたい 一般質問 ……5～8

補正予算

一般会計は修正可決により 1億3,200万円減額 4特別会計は可決

答弁者：三好町長

一般会計並びに4特別会計の補正予算案が提案された。

一般会計の国府本郷西小磯1号線（マリア道）整備事業、1億3,200万円に質問が集中した。

主な質疑

問 マリア道整備の全体像が見えてこない。総事業費は確定しているのか。

答 約3億5千万円を見積っている。

問 町民の要望はあるのか。
答 運動公園整備時から多くの要望がある。

問 以前は総事業費4億3千万円と聞いていた。計画の精査はできているのか。また9.5メートルの道路幅が必要か。

答 町の幹線道路としての将来を見ている。

問 国府橋の拡幅など、多額の予算を投入するのなら、他にやるべき事業があるはずだ。

答 国府橋は交渉を続けている。先に着手できる事業から進める。

問 1時間20台程度の交通量しかない。9.5メートルの道路幅が必要か。

答 交通量は増える想定している。安全性のために歩道も確保したい。

問 町が進めようとしている道路計画では、1軒の住宅の移転が前提となる。交渉は進んでいるのか。

答 予算が認められていないので、交渉は行っていない。

山口陽一議員並びに土橋秀雄議員より、「国府本郷西小磯1号線整備の全体計画が不明確である。町民の生活道路や通学道路の整備を優先すべきである」という理由で、国府本郷西小磯1号線整備の予算を削除する修正案が発議され、修正案に対する討論が次のように行なわれた。

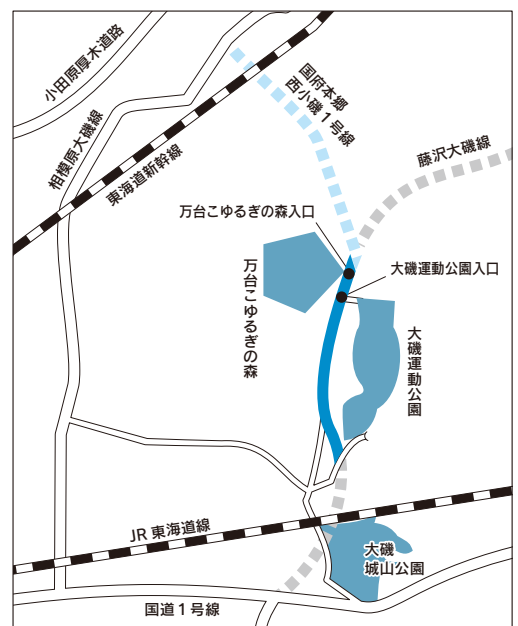
修正案の反対討論

- ・町を南北に通る幹線道路の整備計画である。
- ・継続して検討されている。
- ・まちづくり交付金の基幹事業である。

修正案の賛成討論

- ・9.5mの道路幅がなぜ必要か。6.5mの道路幅が妥当だと考える。
- ・以前にも提案されたが、委員会への説明もなく、状況は変わっていない。

賛成多数で修正案を可決



▲国府本郷西小磯1号線（通称マリア道）

職員 給与 期末手当等・年間0.2月引き下げ

主な質疑

問 職員も生活設計があり、大変と思うが、23年度以降も同じ下げ率か。

答 平成15年から人件費を年間約2億円下げている。

問 職員も生活設計があり、大変と思うが、23年度以降も同じ下げ率か。

答 平成15年から人件費を年間約2億円下げている。

問 職員も生活設計があり、大変と思うが、23年度以降も同じ下げ率か。

答 平成15年から人件費を年間約2億円下げている。

問 職員も生活設計があり、大変と思うが、23年度以降も同じ下げ率か。

答 平成15年から人件費を年間約2億円下げている。

一般職の期末手当等を現行の年間4.15月を3.95月にすることが今回の主な内容である。

町長、副町長、教育長は現行4.05月が3.85月となった。

賛成多数で可決

賛成多数で可決

14町村で情報システム共同化

答弁者：中崎町長

コンピュータシステムの共同化で経費削減

県内14町村で平成21年2月より共同運用型への移行が検討され、検討の結果、「神奈川県町村情報システム共同化推進協議会」を設立し、基幹系業務システム（住民記録、税務、国保等）の事業者選定を行い、サービス提供事業者（株）日立情報システムズを決定。14町村が一部事務組合を設立することに合意し、共同処理するもの。

全員賛成で可決

主な質疑

問 システムの共同化の推進協議会を進めてきたが、23年3月31日をもって解散し、新たに脱退、加入については条例を作るための協議会を策定するのか。

答 この組合設置を認めていただきたい。組合議会、14町村の長を代表とする理事会があり、この理事会で組合議会に諮って認めていただく。

問 6千500万円の削減というが、年間6千500万円の削減と受け取られかねないので説明を。

答 年に直せば1千200万円程度。24年7月から住民基本台帳と外国人登録のシステムが合同になる。加入しないと、システムの改修は町単独だけで5千万円ぐらいかかる。また、後期高齢の医療制度も廃止になるとシステム改修の必要が生じてくる。14町村でやれば割り勘効果で安くなる。

問 安全性の確保は。個人情報に配慮した安全なシステムを要求済み。また、自治体14町村とデータセンターのみ結ばれるだけで、不正アクセスに対しては強固な体制ができています。

問 職員の削減と効果は。共同処理により、今まで職員がやっていたことが職員数が減になれば、金額も700万円ぐらいの経費は減になる。

問 将来、福祉だけでなく、県全体としてもっと広がっていくものか。

答 将来的には14町村で標準化された事務になり、証明書発行が可能になる。



▲システムが整備される窓口

問 管理者、副管理者、監査委員、事務局の報酬については、明確化されていないが。

答 管理者、副管理者は14町村で構成する長なので、支給しない。組合議会が成立してから条例で定める。事務局は町村会から支払う。

監査委員に

土橋氏を選任

渡辺順子氏の退任につき、議会推せんの監査委員が提案され可決された。

土橋 秀雄氏（68歳）

国府新宿

新町長あいさつ（要約）

町の生活は休むことなく日々続いております。一つの生命体であります。私たちは、このことを常に意識し、奉仕者の立場で大磯町の町民の皆様のためにつくさねばなりません。

大磯町には、解決しなければならぬ課題が山積しております。町民の皆様が、自ら認識し経営する町の実現、そのためには、私たちは情報を共有し、話し合うことの大切さを常に心にもち、24地区での集会の実施、目安箱の設置、時には直接

お話しをいただき、町民の皆様の町政への参加を積極的に目指し、職務の遂行に全力をあげてまいります。

大磯町の将来を担う子どもたちのために、全町民が一つとなり、今こそ何が出来るか考えてゆかなければなりません。少子高齢化の進む社会の中で健康と福祉のためにたゆまぬ努力も必要であります。

限られた財源の中で皆様と共に考え、心豊かに暮らせる町の実現に努めてまいります。

議員報酬等検討特別委員会を設置

地方主権時代を迎え、町民から信頼され存在感のある議会となるために、平成21年11月に大磯町議会基本条例を施行したが、さらに議会活動の範囲の明確化や議員報酬などを総合的に検討するために特別委員会を設置した。

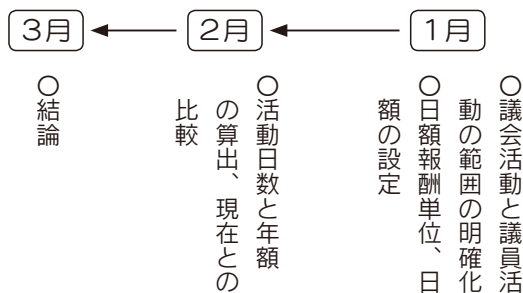
検討した具体的事項等は3月末までに結論を出すよう努力する。

議論内容は、議員報酬、期末手当を中心とするが、政務調査費についても関係する部分があれば議論することとした。

これまでに、議会活動の範囲の明確化については、本会議・常任委員会の範囲を「領域A」、全員協議会など協議・調整の議員活動を「領域B」、A・Bに必要な調査・研究の場を「領域C」、町主催の行事等への出席を「領域X」とすることを決めた。

議員全員の意見、またできれば町民の意見も入れながら結論を出していく考えである。

《議論の進め方》



議員報酬等

検討特別委員会

- 委員長 山口 陽一
副委員長 坂田よう子
委員 鈴木 京子
委員 百瀬恵美子

- 奥津 勝子
土橋 秀雄

賛否結果

議案番号	議案	議員名 (議席順)											結果	
		山口 陽一	清水 弘子	三澤 龍夫	鈴木 京子	百瀬恵美子	奥津 勝子	高橋 英俊	浅輪いつ子	竹内恵美子	坂田よう子	柴崎 茂		土橋 秀雄
第2回臨時会(11月16日)	54	大磯町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例											可決	
	55	大磯町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例											可決	
	56	大磯町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例											可決	
	57	大磯町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例											可決	
	58	平	議案第58号一般会計補正予算(第3号)に対する修正案											可決
		成	一般会計補正予算(第3号) 修正を除く原案											可決
	59	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)											可決	
22年度	60	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)											可決	
	61	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)											可決	
	62	下水道事業特別会計補正予算(第2号)											可決	

議案番号	議案	議員名 (議席順)											結果
		山口 陽一	清水 弘子	三澤 龍夫	鈴木 京子	百瀬恵美子	奥津 勝子	高橋 英俊	浅輪いつ子	竹内恵美子	坂田よう子	土橋 秀雄	
12月定例会	63	神奈川県町村情報システム共同事業組合の設置について											可決
	64	監査委員の選任について											同意

○は賛成 ●は反対 退は退席

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、12月21・22日に11人の議員から24問ありました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。
詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

坂田
よう子

新町長の町政運営の
姿勢を問う

答 町民との政治を実現

問 選挙公報に掲げた町民との約束に対し、信頼・責任・実行を如何に果たすか。新町長の町政運営の姿勢を伺う。

町長 真の意味で町民の視線に沿った本気で開かれた町政へと変革を図る。

これまで以上に、町民との話し合いにより自分達の手で町を創り、将来を担う子ども達のため、次世代のために町政を進める。
町民による町民の政治を実現する事が私の責任である。

問 歳費削減を実行。町長・副町長・教育長三役の「歳費＋ボーナス」の2分の1カットの実現は。

町長 1月中旬に臨時議会を開催し、条例改正を行なう。
問 町民が自ら認識し、経営するまちの実現とは。

町長 厳しい財政状況の中限られた予算で、すべての事業を今までどおり旧態依

とは行なえない。優先順位を町民と一緒につける。

問 子どもも高齢者も安心して暮らせる町の実現は。

町長 東海大大磯病院の産科再開の働きかけ、小児医療の充実を図っていく。

また、保健師等が町内に出向き相談等を積極的に行う。教育では、子ども達は町の宝。教育委員会と連携し、より一層なる教育重視の取り組みや事業展開を図る。
問 健全なる財政、新たな産業を作るためのチャレンジャーとは。

町長 産学官の連携、NPOや意欲ある若い人材に参画してもらい、新たな産業を創出する場づくりである。それを税の還元に繋げる。健全財政に寄与する。

問 未来に向けて希望を持つとうとの真意は。

町長 この町を住みやすく、住んでいてよかったと思われ町にする決意である。

清水
弘子

国際学園の保証金、
1億8千万円の未払いは

答 契約内容を全部公開する

問 新町長に問う。

契約の見直しについて、万台こゆるぎの森を国際学園に貸したいきさつは、議会が否決したにもかかわらず、翌日契約。現在も契約書は2通。2億円の保証金もまだ1億8千万円が町に支払われていない。町民から、町長はこれらのことに毅然とやられるかと問われているが。

町長 国際学園と大磯町との関係について、当初からの推移を事務局に伺っている。町民の方々にその推移並びに契約内容を全部公開する。こう着した状況は国際学園にとってもいい結果は生まれない。必ず情報公開を進めていく。

問 旧吉田茂邸再建の完全復元は反対とは。

町長 学識経験者や町内の各種団体の検討委員会の内容を踏まえ、町民の方々と共通の認識を図り、県と共に再建案を決めていく。基金は現在6千万円集まっている。3月31日で第1回の募金が終わる。今後は町民へ、情報公開を進めていく。

幹線28号線の歩道整備は
問 県道ヤオマサ前から東海大学大磯病院入口の北側歩道整備の進捗は。
町長 今年度は大磯病院から県道へ20mを予定。用地交渉は対象用地26筆、12筆は用地買収が完了。残り14筆も交渉。1件は平成21年より交渉、協議や調整に時間を要している。
歩行者の安全確保のため、1日も早い整備が必要。目標年次23年度に向け関係者のご協力を得て整備を行う。

携帯電話基地局

問 基地局の設置に関する条例制定への取り組みは。
都市計画課長 6月議会へ向けて準備を進める。

土橋 秀雄

投票権は町民の権利、期日前投票所を増やすことは
答 システムづくりを考える

問 選挙管理委員会の投票率の発表では、前回より3.92ポイント上回り、有権者数に対して投票率は52.39%。大磯町の選挙制度に問題はな

町長 県内町村長選挙の投票率平均が60%。

若年層の選挙離れや高齢者所帯の増加による投票困難者の増加等も要因と思われる。

問 投票権は町民の権利。大磯町10カ所投票所があるが、投票場所を増やすことが出来るだろうか。

町長 町民自らの意思を町に反映する。これなくして町の変化は起きない。

町を良くするためには、その一票の行使にかかって

いる。投票所の数、法的に可能であるか、検討する。

総務課長 ご指摘の通りで、投票率の低下の原因は若年層の選挙離れ。一方で、高齢の方々、投票所までなかなか容易ではない。

問 大磯町役場まで来なければ期日前投票は出来ない。西部には支所があるが、期日前投票は出来ない。

次の選挙を目指してシステムを導入し、どこでも選挙が出来る形になったら、住民の意向が示され、投票率アップにつながるのでは。

総務課長 町民の皆さんの利便性を考慮すれば、期日前投票所を増設すると言うことは、これは論を待たないと思う。

町長 大磯町の将来のため、民意が反映される町政をつくるために、皆さんの一票を有効に生かすシステムづくりをやっていききたいと職員一同思っている。

山口 陽一

大磯運動公園は
総額いくらかかったか
答 総費用で約63億円である

問 運動公園をつくるために町は借金をどのくらいしたのか。

町長 借金は約35億円だが21年度末でまだ約15億円の残高がある。

問 運動公園の建設には借金の金利を含めると80億円近いお金がかかった。これだけの金がかかっているのだから、この運動公園をもっと活用しなくてはいけない。年間の利用者は増加しているか。

町長 平成19年度は年間約6万人、平成21年度は約7万人である。

問 運動公園の管理運営をする指定管理者との契約が平成23年3月までということとで指定管理者を再募集したということだが。

都市計画課長 現在の指定管理者を含めて3者応募があり、今の業者でなく別の業者に決定した。

問 指定管理者選定委員会のメンバー構成はどうなっているか。

財政課長 副町長以下町の職員のみとなっている。

問 町の職員だけで決めたということがわからない。町民不在というか、大きな問題である。運動公園利用者の意見も聞かないで机に座っているだけの職員が決めた事は大きな問題である。

町長 町長のお考えは。指定管理の決定に至る整合性をもう一度よく調べる。



▲大磯運動公園

浅輪 いつ子

コミュニティバス運行を
全町に広げる公約の実現は
答 4年の間にやる努力をする

問 コミュニティバス運行を全町に広げる公約の実現は。

町長 高齢者が外出しやすい環境や、子どもたちの通学環境など町民の皆さまが住みやすい環境を整えていくことが必要である。

問 西久保、黒岩、虫窪以外にも東部地域の赤坂台や松濤台の北の高齢の方からも要望されている。町長は4年間で実現したいと強い決意を持っているか。

町長 ぜひとも必要な手段だ。ただ、効果的な運用が平等に行われなくては

ない。4年の間にやる努力をする。

通称マリア道は絶対に必要か
問 国府本郷西小磯1号線通称マリア道は絶対必要、寺坂までつながる大磯町のための道路をつくらんと公約しているが、きつい財政の中でまずやらなければなら

ないことを考え絶対に必要と決めつけず町民と話し合

って取り組むべきだが。
町長 優先順位は当然あります。優先順位は当然あります。優先順位は当然あります。優先順位は当然あります。

その他の質問

- 町民が自ら認識し、経営する町の実現とは
- 子どもと高齢者が安心して暮らせる町を創るとは
- 健全な財政を作るとは
- 万台こゆるぎの森の問
- 町民の立入制限は・議員の退去強制は・保証金は



奥津 勝子

セカンドブックスタートの創設は

答 今後、検討して行く

問 子どもたちの読書離れ、活字離れが進んでいる。生活環境の変化の中、日常的に本と出会い、親しむ環境の整備充実は不可欠。18年度より始まったブックスタート事業を更に後押しするため、小学校入学時に絵本をプレゼントするセカンドブックスタート事業の創設を提案するが、ブックスタートの現状は。

生涯学習課長 小学4年生への学級招待事業、昼休みを利用してブックトーク、読んだ本の冊数に応じて文具をプレゼントする、スタンブラリー、学校・幼稚園・保育園へのブックリストの配布等。現在策定中の第二次大磯町子ども読書推進計画でも、連携を更に強化し、読書環境の整備を進めて行きたい。

子ども育成課長 絵本を介して赤ちゃんと保護者が直接向き合い、小さい時から絵本の読み聞かせをして、感性や想像力を育てる時間がつくれるよう応援する事業、4ヶ月健診に合わせ、1ヶ月置きに実施。

問 国から学校図書を更に充実するよう要請されたが、担当は。

子ども育成課長 図書の充実にと、手を挙げている。

問 図書館と学校図書との連携は。

生涯学習課長 図書の充実にと、手を挙げている。

問 日曜日の窓口業務開設の推進は。

町民課長 町の行政改革推進本部に窓口サービス研究専門部会が設置されている。その中で具体的な検討を進めて行きたい。

問 新町長のご見解は。

町長 読書に親しむことはゲームやテレビでは得られない、人間性を養い、考える力、生きる力の糧となるので、今後検討して行く。

問 町民サービスの拡大は

町民課長 町の行政改革推進本部に窓口サービス研究専門部会が設置されている。その中で具体的な検討を進めて行きたい。

三澤 龍夫

町政運営を進めていく基本は

答 話し合いを重ねる

問 11月30日付神奈川新聞に掲載された、「一時的な予算を組む、来年6月の議員選挙が転機になる。」この発言の真意は。

町長 私のまちづくり構想や政策を実現していくための事業等に優先順位をつけ、健全な財政づくりを主眼にした予算編成に取り組んでいく。

問 今回の町長選挙は4人候補者が立たれ、町長は5千500票を獲得して当選されたわけだが、他の3人の候補者の得票数を合わせると約9千票となる。

町長 この町には様々な考え方があり、謙虚に町政運営を進めていただきたい。

問 通常の予算編成を行ない、3月議会に提案すると認識しているのか。

町長 その通り。

問 平成20年度の大磯町の財務諸表、公債費推計表を通し、現状の問題点はどこにあるのか、今後の課題は何か、町長の経営感覚と政治姿勢を問う。

町長 下水道を除くと、毎年町の資産額は減少している。新たににつくられる資産より減価償却による減少が多いためであり、投資的事業を抑制してきたことが原因である。負債額も償還する元金よりも低い額に抑えて地方債を発行しているため、残高は減少傾向にある。平成31年度までの一般会計分の元利償還金と残高は減少と見込んでいる。下水道においては整備中であり、増加を見込んでいる。現在の問題点は、定期的に必要な建物の補修、改修が十分でなかった。今後の課題は、町の資産を再検査すること、維持する財源を確保しつつ借金を減らしていくことが、「健全な財政」と考える。

問 現状の資産を再検証し、選択、集中すべきでは。

町長 資産の使用目的を検証し、幅広く裁量権で広げたい。歳出を制限し、歳入をふやす事を検証し、検討したい。

問 一般会計から医療費への繰り出し金対策は。

財政課長 10億円ほど繰り出されている。予防医学等で削減を図りたい。

問 町内の雨水対策

町長 町内の雨水対策は、中丸久保町地区、国府新宿747付近及び架道橋について。

町長 中丸久保町地区は、平成17年度に逆流防止施設を設置した。国府新宿747付近及び架道橋は、本年度架道橋内のポンプを交換し、排水施設の掃除や横断側溝の設置をした。公共下水道の雨水計画により解決を図る。



鈴木 修

鳥獣被害対策の検討委員会

設置とは

答 対策の活性化を働きかける

問 鳥獣被害対策を公約に掲げ、その対策として農業者参加型による検討委員会を設置するとあるが、町の農業委員会、農協との協調について問う。

町長 既存の湘南有害鳥獣対策協議会の活動をより活性化するように努力するよう働きかけ、効果的な対策を相談しながら講ずるための検討委員会設置である。

問 現在、イノシシ被害が非常に深刻化しているが、その具体的な対策案は。

町長 イノシシ被害は他の市町に比較してより深刻であり、耕作放棄につながっている一因であると認識している。

問 今、町では檻による捕獲が主流だが、現在の檻の数は。

町長 今年度は8月と11月に各1基ずつ増やして、合計21基設置している。

問 檻の数に対しての1ヵ月平均の捕獲率は。

町長 今年の4月から11月まで、22頭捕獲している。従ってひと月当たり2.8頭である。

問 イノシシ被害に合っている農家は、農協に申告しても結果が得られないからと、あきらめムードが蔓延している現在、町長が公約にあげた卓話集会を開催して積極的な姿勢を示しては。

町長 第一次産業としての農業、漁業は大磯町の宝である。今後、農家の方々ときちんとお話しをし、担当課とともにやっていく。

その他の質問

○東海大学大磯病院に産科再開を働きかけるについて

○看護師、保健師等が全町に出向き、予防医学に徹底することあるが

○町長の任期について

百瀬 恵美子

薬物乱用防止対策は

答 防止教育の啓発に努める

問 最近、芸能人や若者による薬物乱用が問題視されている。また、小・中・高生の低年齢化も危惧されている。町として地域や教育現場での啓発活動が重要。薬物乱用防止対策は。

町長 継続的な注意が必要である。講演会を含め、今後一歩踏み出した形で啓発・指導する。教育委員会として、薬物乱用問題は喫煙・飲酒も含め、全国的に低年齢化の傾向にあると認識する。防止教育の推進・啓発に努める。

通称マリア道の整備を

問 この道路は、運動公園へのアクセス路で、広域避難場所の指定や利用者のためにも必要である。今まで1千万円以上の費用を投入したが、今後の進め方は。

町長 議会をはじめ関係地権者や地域住民の方々へ全体計画・財源計画を示し、整備をすすめる。



鈴木 京子

「しがらみがない」とはどんな関係も公にすることでは

答 過程を明確に公にする

問 しがらみ病にかかった不透明な町を変えることについて、どのような課題があるか。

町長 厳しい財政のもとで多くの問題点が生じる。本心に責任を持って皆さんに納得し、決断していくために、皆さんとの関係は大切にしていく。

情報をすべて公開していく。ていねいな議論、対話する姿勢に欠けた閉鎖的な町政運営とはおさらばする。

問 しがらみが無い、というルールをつくらないか。それは、どんな関係においても公表できる、公にして説明ができる、内緒話はないということにはならないだろうか。

町長 今回の選挙でいろいろな方とかかわった。ある観点から見ればしがらみである。しかし、自分の信念を通すことがとても大事。しがらみでない形にするに

は意見を聞き、信念が変わらないと申し上げること。過程を明確に公にすることは、もっといい方法と思う。

NCR跡地活用は

問 PCB問題も含め、跡地活用をどう考えるのか。

町長 PCBは県と共に監視する。町の土地ではないが、一日も早く利用が図られるよう、対策を講じたい。



▲旧NCR跡地

あなたの要望はもうありません

詳細はホームページで閲覧できます

採択となった陳情

◆大磯学童保育会についての陳情 1

陳情者は、大磯学童代表 田中千佳氏ほか24名。
内容は、学童内の衛生管理上、感染症の流行を防ぐ観点や、今後学童の増加も予測されるため、手洗い場の増設を求めるもの。

趣旨採択となった陳情

◆大磯学童保育会についての陳情 2

陳情者は、前者と同じ。
内容は、働き方が多様化する中、土曜の全日、平日の祝日開所を求めるもの。

意見として、「大磯・国府の2カ所に学童保育があるので、格差のない平等な対応を」等があった。

◆医療税制の存続と診療報酬への消費税のゼロ税率適用とする意見書提出を求める陳情

問 開所は早急に取り組むべきではないか。
答 昨年まで運営していた保護者会では、希望者が少ないことから対応なし。

陳情者は、池川明氏(神奈川県保険医療協合理事長)。
内容は、地域医療確保の観点から国に意見書の提出を求めるもの。

問 設備投資の低下、経営悪化などで、医療制度が変わる危機感はあるか。
答 廃止により心配である。

意見として、「どのくらい町民に影響を及ぼすのか現時点では把握ができない。国でも消費税が議論されており、医療税制も1年見送る状況にある」等があった。

◆医師・看護師等の大幅増と夜勤改善で安全安心の医療介護を求める陳情書

陳情者は、土谷正明氏(神奈川県医療労働組合連合会執行委員長)。
内容は、医師、看護師等の不足が深刻化しているため、国に対し、現場の状況改善の意見書提出を求めるというもの。

◆大磯高麗町道1号線の排水清整備に関する陳情書

陳情者は、柳川力氏ほか11名。
内容は、度々、道路冠水が発生している箇所について、国や県に働きかけて改善して欲しい。町道部分についての排水施設整備を見直して欲しいというもの。

意見として、「町がやること、国・県へ要望することを精査し、優先順位を考え対応すべき」等があった。

不採択となった陳情

◆所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することについての陳情書

陳情者は、高瀬初江氏(平塚民商婦人部)。
内容は、中小企業の家族従業員への働き分(自家労賃)は、所得税法第56条により必要経費として認められていないので、家族従業員の権利保障の基礎をつくるため、国に対し、所得税法第56条を廃止するよう意見書の提出を求めるというもの。

机上配布となった陳情

◆安心・安全な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書

◆住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める陳情書

意見として、「手洗い場は必要。場所を精査し、すすめるべき」等あった。



▲手洗い場の増設を求める大磯学童保育所



▲大磯高麗町道1号線

議 会 ス ナ ッ プ



▲1月11日 福祉文教常任委員会
たかとり幼稚園を視察



▲1月13日 総務建設常任委員会
駅前洋館を視察

陳 情 ・ 請 願

町政などへ意見や要望があるときは、誰でも陳情書や請願書（議員の紹介が必要）を議会に提出することができます。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。61-4100（内線281）

提出の締め切り
（3月定例会分）
2月7日

柴崎茂議員が
11月23日付けで
議員を辞職しました



議会はすべて公開です
傍聴お待ちしております

予算特別委員会（予定）

3月 2日 全会計説明
4日 総務関係
7日 建設関係
8日 文教関係
10日 福祉関係

3月定例会

2月18日 議案上程等
24日 総括質疑
28日 一般質問
3月 1日 一般質問
16日 委員長報告等

※SCN（ケーブルテレビ）にて放映されます
生放送は9:00～議会終了まで
再放送は当日19:00～
SCNプラス（デジタル004ch、アナログ9ch）にて放送

新議員紹介（補欠選挙で当選）



【16番】鈴木 修

このたびの補欠選挙で沢山の方々のお力を頂きました事、改めてお礼申し上げます。

ご期待に添えるよう最善の努力を払い、今、大磯

町が抱えている問題を、町民の足元目線で掘り起こして、将来を担う子供たち、今まで大磯町を育ててくださった高齢者の方々が、ずっと住みたいと実感する安心、安全な町づくりをまい進致します。

【所属委員会】

○福祉文教常任委員会
○ごみ処理広域化検討特別委員会

【編集後記】

昨年の11月臨時会、12月定例会をお伝えします。11月臨時会は三好前町長、12月定例会は中崎新町長が答弁者です。

鹿児島県阿久根市、名古屋市での行政と議会の対立の構図を見る時、議会というもの存在理由が問われています。議会が本場に必要かという住民の考えが底流として流れているようです。

我々、大磯町議会議員一同、時代の変化や住民の要望に的確に対応する議会をめざし、議員一人ひとりその使命を遂行してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

議会だより編集委員

委員長	鈴木京子
副委員長	三澤龍夫
委員	百瀬恵美子
	奥津勝子
	竹内恵美子
	坂田よう子
	山田喜一
	山口陽一
副議長	
議長	

※表紙の題字『大磯』は大磯中学校の正門にある吉田茂氏筆の門標より